

# 研 究 紀 要

## 第 57 卷

---

### 学校研究 1 遠隔合同授業をツールとした「主体的・対話的で深い学び」の実現に向けて

- ・ 肢体不自由児における遠隔合同授業の効果と課題  
 – 主体的・対話的で深い学びに向けて – …………… 2
- ・ 学びを深める対話的な授業に関する研究  
 – 中学部 3 年国語科 遠隔合同授業の実践を通して – …………… 8
- ・ 肢体不自由特別支援学校における社会科遠隔合同授業の実践  
 – 対話を通じて学びを深める中学校社会科地理的分野「日本の諸地域」の学習 – …… 15
- ・ 深い学びを目指した遠隔合同授業の改善  
 – 小 1 算数「かたちづくり」の実践から – …………… 20
- ・ 保健体育科における主体的・対話的で深い学びの実現に向けた遠隔合同授業の実践  
 – 中学部体育球技「バレーボール」の実践事例 – …………… 29
- ・ 互いの価値観を認め合うことを目指した特別の教科 道徳の授業実践  
 – 遠隔合同授業をツールとして – …………… 37
- ・ 「主体的・対話的で深い学び」を目指した自立活動の指導  
 – 自立活動の時間における指導での遠隔合同授業を活用して – …………… 42

### 学校研究 2 知的障害を伴う子供の教科指導

- ・ 知的障害を伴う肢体不自由児に対する教科指導の在り方に関する実践研究  
 – 各教科の資質・能力を育む単元づくり – …………… 48

---

### 個人・グループ研究, その他

- ・ 肢体不自由特別支援学校における食に関する指導  
 – 本校における10年間の指導の経過と現状の課題 – …………… 66
- ・ 校庭の植物を対象に理科の見方・考え方を働かせる単元の開発  
 – 中学部 1 段階「○色の花を探そう」の計画と実践 – …………… 73

2022年 3 月

筑波大学附属桐が丘特別支援学校

## 筑波大学附属桐が丘特別支援学校

### 研究紀要第57巻 執筆要項

#### I. 原稿の仕様(学校研究, 個人・グループ研究, その他共通)

1. Wordを使用し, A4判に横書き, 2段に段組み, 2,500字(25字×50行×2段)で印字された原稿で, 本文中に図表を入れて完成したものを提出する。 ※「原稿(基本様式)」あり
2. 図表(写真も含む)は上記1.とは別に図表のみのファイルを作成し, 加工, 修正が可能な状態で提出する。
3. 表題は, 1ページ目の先頭に2段組みせずに記載(MSPゴシック(太字)18pt)し, 副題を付ける場合は表題の下に記入(MSPゴシック(太字)16pt)する。さらに, 執筆者名はその下に記入(MSPゴシック(細字)12pt)する。
4. 要旨(アブストラクト)は, 表題(および副題)の下に, 2段組にせず400字以内で記載(MS明朝体(細字)9pt)する。
5. 1名による執筆の表題, 執筆者名, 本文, 図表, 文献を全て含めた原稿の刷り上がり頁数は7ページを上限とする。ただし, 2名による共同研究の執筆の場合は13ページを上限とし, 3名以上による共同研究の執筆の場合は21ページを上限とする。
6. フォルダ内の元ファイルを使用して作成し, 上書き保存はしないようにする。

#### II. 文献

1. 本文において引用されたすべての文献(引用文献)は, 論文の最後に著者名をアルファベット順(アイウエオ順ではない)に一括して記載する。記載の様式は以下のとおりとする。

雑誌: 著者名(西暦年) 題目. 雑誌名, 巻数(必要な場合は号数), 開始頁-終了頁.

著書: 著者名(西暦年) 書名. 出版社, 出版地(国内は省略), 開始頁-終了頁. (頁は省略可)

(例) 1) 宇野彰(2007) ことばとこころの発達と障害. 永井書店

※文献記載の書式の詳細については「特殊教育学研究」和文論文執筆の手引きを参照

2. 引用文献, 参考文献の番号のふり方は**1) 2) 3)**…のように**全角数字と片カッコ**とする。

#### III. 研究倫理の遵守

執筆者は論文の内容について十分に人権および研究倫理上の配慮をしなければならない(個人情報に関する配慮や写真掲載の許諾など。)また, 研究実施の際に配慮した研究倫理に係る事項があれば, 論文中に記載すること。

# 謝 辞

本研究紀要の作成に当たり，以下の先生から貴重な御示唆を頂戴いたしました。ここに記して，感謝の意を表します。

筑波大学人間系教授                      川間 健之介 先生

筑波大学人間系教授                      竹田 一則 先生

(五十音順)

筑波大学 研究紀要 第57巻  
附属桐が丘特別支援学校

---

2022年3月20日 印刷

2022年3月25日 発行

発行者 東京都板橋区小茂根2丁目1番12号 電話(03)3958-0181(代)  
(〒173-0037) FAX(03)3958-2090

筑波大学附属桐が丘特別支援学校

印刷所 株式会社 三協社 電話(03)3383-7281

---

Bulletin  
of  
Kirigaoka School for the Physically Challenged,  
University of Tsukuba

Vol. 57

---

**School Research 1: Achieving “Proactive, Interactive, and Deep Learning” through Remote Joint Lessons**

- Effects and Issues of Remote Joint Lessons for Children with Physical Disability: Achieving Proactive, Interactive, and Deep Learning ..... 2
- Interactive Lessons to Deepen Learning: through Remote Joint Lessons of Junior High School 3rd Grade Japanese ..... 8
- Remote Joint Lessons of Social Studies at a Special Needs Education School for Physically Challenged: Deepening Learning through Interaction, Junior High School Geography “Areas in Japan” ..... 15
- Improving Remote Joint Lessons to Aim Deep Learning: Practicing 1st Grade Math “Shapes” ..... 20
- Practicing Remote Joint Lessons of Health and Physical Education to Achieve Proactive, Interactive, and Deep Learning: Practical Example of Junior High School “Volleyball” ..... 29
- Practicing Moral Education to Aim Acknowledging Sense of Values of Both Sides: Using Remote Joint Lessons ..... 37
- Guiding Jiritsu to Aim “Proactive, Interactive, and Deep Learning”: Using Remote Joint Lessons of Jiritsu ..... 42

**School Research 2: Teaching Subjects for Children with Intellectual Disabilities**

- Teaching Subjects for Children with Physical and Intellectual Disabilities: Making Lessons to Foster Qualities and Skills for Each Subjects ..... 48

---

**Individual / Group Research and Other**

- Food and Nutrition Guidance at a Special Needs Education School for the Physically Challenged: Progress of Ten years of Guiding and Issues Status Quo ..... 66
- Making Lessons to Cultivate Scientific Ways of Looking and Thinking by Targeting Plants in the School Yard: Planning and Practicing “Find Flowers of Certain Color” from Junior High School 1st Stage ..... 73

Published by  
Kirigaoka School for the Physically Challenged,  
University of Tsukuba

Mar. 2022